



平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月6日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4361 URL <http://www.kawachem.co.jp>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 山田吉隆  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171  
 四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	1,591	△8.5	32	27.5	30	32.6	8	△68.4
23年11月期第1四半期	1,739	—	25	—	22	—	27	—

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 13百万円(△61.2%) 23年11月期第1四半期 34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年11月期第1四半期	0	72	—	—
23年11月期第1四半期	2	28	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	5,895	—	1,472	—	25.0	—
23年11月期	5,762	—	1,495	—	26.0	—

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 1,472百万円 23年11月期 1,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年11月期	—	0 00	—	3 00	3 00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	0 00	—	3 00	3 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,400	△4.2	70	△44.7	60	△51.0	50	△54.5	4 10
通期	7,000	△0.2	170	16.3	150	2.7	110	△14.1	9 03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	12,200,000株	23年11月期	12,200,000株
24年11月期1Q	15,900株	23年11月期	15,900株
24年11月期1Q	12,184,100株	23年11月期1Q	12,185,036株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、中国を中心としたアジア経済の成長に鈍化が見られるものの欧州債務危機に伴う金融不安について落ち着きを取り戻してきたことや、米国の景気についても堅調な生産や雇用の改善傾向が見られ、タイの洪水被害からの復旧が進んできたことなど、全体として穏やかな回復傾向が見られました。しかしながら、世界経済動向は原油価格の高騰や今なお残る金融不安など不安定要素も多く、先行きの不透明感が強い状況にあります。日本国内においては、昨年発生した東日本大震災が今なお日本経済に深刻な影響を与えており、引き続き厳しい環境にありますが、最近になって生産や消費に持ち直しの動きが広がりました。

当社グループの関係する自動車業界は、日本国内のエコカー補助金の復活などの経済対策効果が期待されることから、国内自動車生産は全体として穏やかな回復に向かうものと見込まれますが、市場動向は予断を許さない状況にあります。

原料面では原油価格が引き続き上昇していることと併せて、今後の経済状況が不透明であることから原材料供給や価格が不安定である一方、販売面では円高の継続による国際競争は激しさを増していることから、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループにおきましては、顧客の要望に応え、市場競争力を高めるための原材料のコストダウンや生産合理化検討を進め、震災後の市場・生産環境の変化に対応できるよう生産供給体制を強化し、在庫の最適化を実施しました。販売においては主力のゴム薬品・環境用薬品・機能性化学品に注力した活動を行うとともに新製品戦略の展開を行いました。

しかしながら、各種樹脂生産が低調であることや、顧客の在庫調整の影響と併せ、為替も円高水準であることから全体として前年同四半期対比で売上を落としました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億91百万円（前年同四半期比8.5%減）、営業利益は32百万円（前年同四半期比27.5%増）、経常利益は30百万円（前年同四半期比32.6%増）、四半期純利益は8百万円（前年同四半期比68.4%減）となりました。

#### (部門別の概況)

##### <ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、自動車生産が昨年発生した東日本大震災による大幅減産から2011年後半から回復に転じ、当第1四半期連結累計期間の国内自動車生産と販売台数は前年と比較して増加となりました。

当社の主要顧客であるタイヤ・ゴム工業用品・合成ゴムの生産活動は国内自動車生産の回復とタイヤ並びに合成ゴム生産が堅調であったこと、全社を挙げて変化する市場動向に合わせた生産販売に注力したことから国内ゴム薬品の販売は前年並みの金額となりました。

輸出におきましては、販売活動を強化し維持拡販に努めましたが、一時、歴史的円高に為替が進行したこと、タイでの洪水の影響や欧州金融不安の長期化により、中国をはじめとする東南アジア市場の拡大が鈍化したことにより、売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は10億7百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

##### <樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、主要需要先である国内外のアクリル酸・アクリル酸エステル・ABS樹脂・MMA等の国内生産減少や海外市況の低迷により樹脂生産が減少したことや、円高の進行により主力の樹脂薬品について内外において競争が激化したことから売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は2億12百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。

## 〈中間体〉

界面活性剤中間体は顧客の在庫調整に伴う生産減少の影響を受けたことと併せ、競合企業との競争が激化したことから売上が減少しました。染顔料中間体は円高の影響により海外市場での競争が激化し売上が減少しました。医薬中間体は機能性化学品において売上が増加しましたが、農薬中間体は顧客の稼働減少の影響により売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は1億83百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。

## 〈その他〉

環境用薬剤は市場動向に合わせ拡販に努力した結果、堅調に推移しました。潤滑油向け薬品は市場の回復に合わせて売上に注力しましたが、品目により売上に増減がありました。新規用途向け薬品は、一部品目について受注に至らなかったことから全般的に売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は1億90百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては58億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億33百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が2億33百万円、たな卸資産が90百万円増加したことに対し、受取手形及び売掛金が1億46百万円減少したことによります。

負債につきましては44億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億56百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が増加したことに対し、流動負債その他の未払費用が1億20百万円減少したことによります。

純資産につきましては14億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が27百万円減少したことによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期の連結業績予想につきましては、世界的な景気後退による需要の鈍化、円高の継続及び主要顧客の在庫調整の影響を受け、売上高が前回予想数値を下回る見込みであることから下記のとおり修正いたしました。

## ●平成24年11月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,610	70	60	50	4.10
今回修正予想(B)	3,400	70	60	50	4.10
増減額(B-A)	△210	—	—	—	
増減率(%)	△5.8	—	—	—	
(ご参考)前年同四半期実績 (平成23年11月期第2四半期)	3,548	126	122	109	9.01

## ●平成24年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,370	170	150	110	9.03
今回修正予想(B)	7,000	170	150	110	9.03
増減額(B-A)	△370	—	—	—	
増減率(%)	△5.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	7,014	146	146	128	10.51

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度より法人税率が変更されることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年11月30日まで	40.69%
平成24年12月1日から平成27年11月30日	38.01%
平成27年12月1日以降	35.64%

この税率変更により、当第1四半期連結会計期間における繰延税金資産の純額が23,405千円減少し、その他有価証券評価差額金が543千円増加しております。また、費用計上された法人税等調整額の金額が23,949千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	214,691	447,744
受取手形及び売掛金	2,195,820	2,049,030
商品及び製品	741,476	786,595
仕掛品	218,924	292,005
原材料及び貯蔵品	266,224	238,739
その他	13,326	16,490
貸倒引当金	△2,657	△2,511
流動資産合計	3,647,807	3,828,094
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	853,715	842,684
その他(純額)	905,493	888,106
有形固定資産合計	1,759,209	1,730,791
無形固定資産		
その他	6,398	5,999
無形固定資産合計	6,398	5,999
投資その他の資産		
その他	350,210	331,761
貸倒引当金	△950	△950
投資その他の資産合計	349,260	330,811
固定資産合計	2,114,868	2,067,601
資産合計	5,762,675	5,895,696
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,020,624	1,031,748
短期借入金	870,000	1,170,000
1年内返済予定の長期借入金	164,768	164,768
未払金	210,279	159,375
未払法人税等	4,767	2,140
未払消費税等	15,662	15,905
賞与引当金	—	49,044
役員賞与引当金	12,000	2,400
その他	186,065	78,188
流動負債合計	2,484,167	2,673,570
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	461,164	419,972
退職給付引当金	586,356	592,783

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
役員退職慰労引当金	60,718	62,521
その他	74,545	74,480
固定負債合計	1,782,784	1,749,757
負債合計	4,266,951	4,423,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	831,945	804,182
自己株式	△6,870	△6,870
株主資本合計	1,493,512	1,465,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,622	6,039
為替換算調整勘定	△411	579
その他の包括利益累計額合計	2,210	6,618
純資産合計	1,495,723	1,472,368
負債純資産合計	5,762,675	5,895,696



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	1,739,849	1,591,766
売上原価	1,486,712	1,342,051
売上総利益	253,137	249,715
販売費及び一般管理費	227,879	217,504
営業利益	25,257	32,210
営業外収益		
受取利息	37	22
受取配当金	308	308
不動産賃貸料	4,703	2,065
受取保険金	—	2,971
貸倒引当金戻入額	—	146
その他	1,424	1,605
営業外収益合計	6,473	7,119
営業外費用		
支払利息	6,625	5,459
社債利息	1,136	1,162
その他	1,025	2,275
営業外費用合計	8,787	8,897
経常利益	22,944	30,432
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	—
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	—	—
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	22,944	30,432
法人税、住民税及び事業税	310	310
法人税等調整額	△5,158	21,333
法人税等合計	△4,848	21,643
少数株主損益調整前四半期純利益	27,792	8,789
四半期純利益	27,792	8,789

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	27,792	8,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,220	3,416
為替換算調整勘定	△10	991
その他の包括利益合計	6,209	4,407
四半期包括利益	34,002	13,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,002	13,197
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループにおいては、有機化学工業薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。